

新市場創出と高生産性を

イツミが経営革新計画発表会



新年度の目標を確認した経営革新計画発表会

クリーニング機械、衣料プレス機械など製造のイツミ(原村)は24日、2018年度の経営革新計画発表会を茅野市のマリオロイヤル会館で開いた。五味淳社長が新たな

会計年度となる9月からの経営戦略や目標を示し、参加した社員たちと目標達成に向けて一丸となることを確認した。

同社は、15年度から5カ年の経営革新計画の実行に取り組み、18年度が4年目となる。発表会は、社内全体で1年間の経営戦略や目標を共有し、会社の発展につなげるのが目的。4回目の今回は社員ら約50人が参加し、各部門の目標発表やビジネスゲーム、ワークショップも行

った。

五味社長は17年度を振り返り、急変する業界の動向を分析しながら、18年度の経営方針を発表した。17年度の成果として、国内の新規顧客獲得や念願だったアパレル向け機械の直販に向けた進展、社内の自己改善を制度化した「実施済み改善提案報告書」の導入、生産効率の向上、5Sレベルの前進などを挙げた。18年度は「生かせ機会、直販への挑戦と改善」をスローガンに掲げ、経営革新計画のテーマ「イノベーション」新市場創出と高生産性の実現」を目指すことを強調した。五味社長は「計画に向かって全員一丸となつてやってくることが会社の発展につながり、ここに在る全員の幸せにつな

がる」と述べ、協力を呼び掛けた。(唐沢宏)

8月訪日客 伸び鈍化続く

地震・豪雨が影響

日本政府観光局が発表した8月の訪日外国人人数(推計値)は前年同月比4.1%増の257万7800人だった。伸び率が1桁台にとどまるのは2カ月連続。6月の大阪北部地震や7月の西日本豪雨といった自然災害の影響で、訪日旅行をキャンセルする動きが広がった。

国・地域別では、西日本への旅行が人気の韓国が4.3%減と、2カ月連続のマイナス。8月の猛暑で訪日を延期する動きもあった。中国は4